

日本野鳥の会大阪支部植物観察会  
**第84回 旧吹田村歴史散策**  
 (巨樹・旧家・神社仏閣など)+アサヒビール見学)

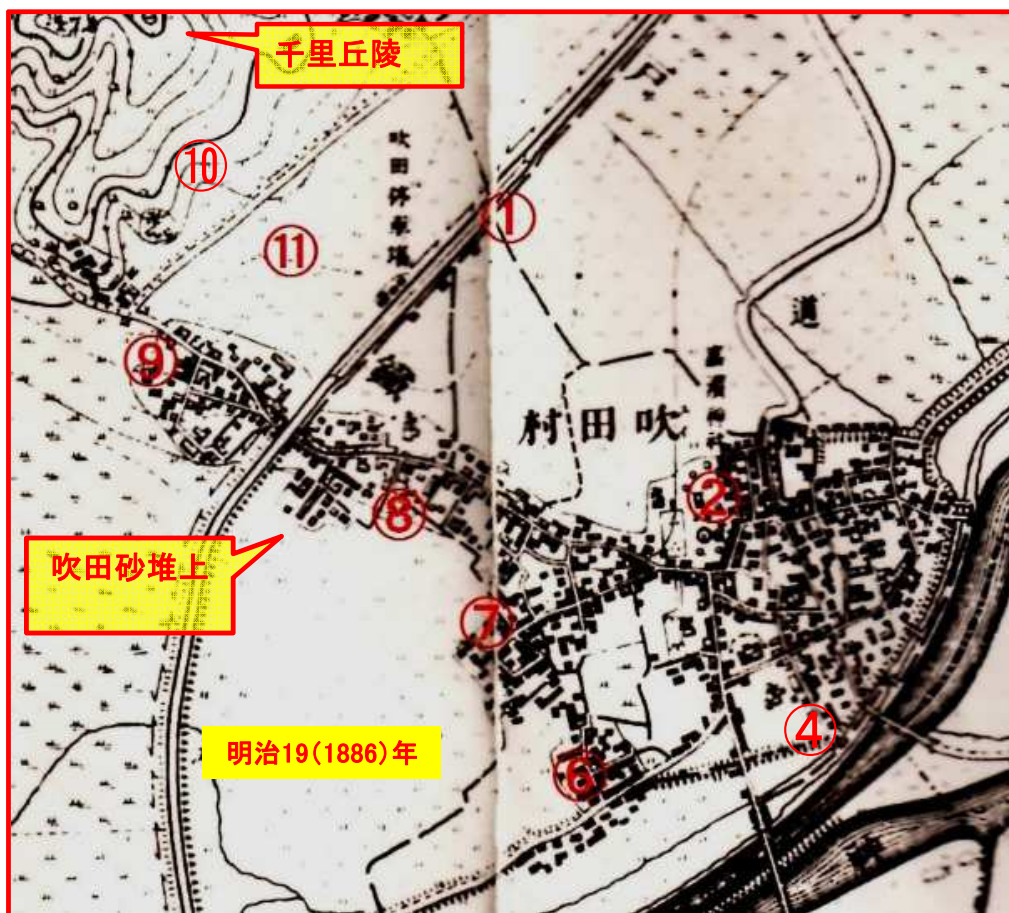
2019.12.10(火) 9:30~14:30頃

日本野鳥の会大阪支部  
 平 軍二・中筋好子

**I 旧吹田村の  
 コース変遷**

今日は吹田市の古くからあるまち、旧吹田村を歩き午前中で終了。  
 午後1時からアサヒビール吹田工場を見学(試飲付き)。

- ①JR吹田駅→②高浜神社→③浜屋敷→④吹田の渡し→  
 ⑤大の木神社→ ⑥弘誓寺→⑦旧西尾邸住宅・両亘家→  
 ⑧福田家大木(外観)・光徳寺→⑨泉殿宮 →  
 ⑩(昼食(片山公園)) → ⑪アサヒビール吹田工場

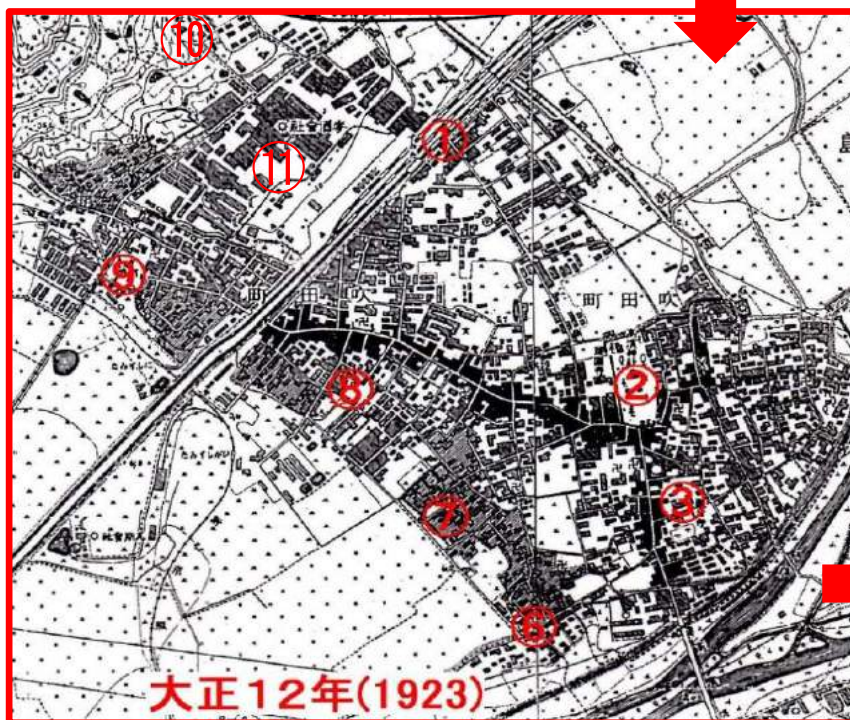
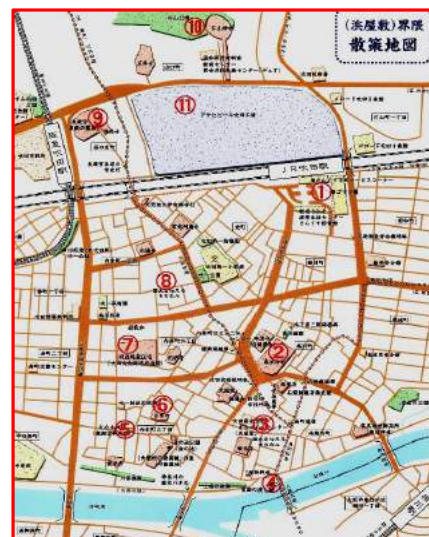


**吹田砂推(すいたさすい)**

千里丘陵から南東方向に伸びた吹田砂推。

周囲より土地の標高が高く、旧吹田村として発展した。

(吹田砂推の標高5m台、  
 南北の田んぼは3m台)



## Ⅱ 旧吹田村大木・風景写真

② 高浜神社



③ 洪屋敷



③ 大雄院

④ 吹田の渡し



⑤ 弘誓寺イチョウ



⑥ 大の木神社(ムクノキ)

大の木と吹田殿址  
当地は神代の流れに、平安時代、川に面して  
祭祀を極めた近辺に、藤原貴族の別荘  
があったと伝わる。  
「大木の」のたて字がある。  
神木の木は樹齢七、八百年、周囲目通り二、三  
丈、大枝は長し三丈六尺、幹はぼろぼろと  
折れ、昭和九年、台風に最後の大枝を  
折られ、現在の姿となった。老木大樹で、俗語にも  
「神所の内、池に落ちず川面の標」といふ佳話も  
唯一の天然記念物である。  
附属の大坂の標名「吹田殿址」がある。  
吹田殿には、後醍醐天皇、御宇多など歴代  
上皇の御幸の道があり、臨別にお海に或は  
時教など下す、それ程を承知された。  
当時、神家の邸宅は後醍醐天皇に、池に面して  
相神春日大神を奉祀し、本所に合祀し、周來  
此の宮庭に普く、早々盛大な神事渡御が  
行われていた。  
泉殿宮 川面御旅所



東亘家

西亘家



西尾邸の塀(閉館中)



⑧ 福田家クスノキ

吹田市幹周りNo1

1997年 440cm  
2007年 467cm  
2017年 479cm

明治維新時、薩摩兵より  
クスノキを植えると良い  
と教えられ植樹したとのこと  
であった。

3回の測定者→

←外から見た変化

2013年に一度大きく枝切  
りされ樹冠が小さくなった。  
その後回復したが、2018  
年台風21号で枝折れが発  
生し、空間ができた。



⑨ 泉殿宮クスノキ↑↓  
2007年大木冊子の表紙を  
飾った。(安芸佐穂子氏画)

⑪アサヒビール迎賓館  
左センペルセコイア・右メタセコイア  
(2008年1月吹田の郷表紙)

当初2本並んでいたが、センペルが落雷に被災し切断、更に今年の台風で頂上が切られた。

2007.6吹田の郷表紙・⑩片山神社クスノキ  
(安芸佐穂子氏画)



2014年2本健在



←2019.12.3  
メタセコイア  
1本のみ  
  
センペル  
切断



⑪アサヒビール吹田工場

## 旧吹田村民家

### ③浜屋敷(吹田歴史文化まちづくりセンター)

平成12(2000)年5月に、市民の文化活動や交流の場として活用することを目的に所有者(気比家)から歴史的古民家の寄付を受けた。古民家再生にあたっては、地域の市民や団体、歴史文化活動団体、商業団体などが参加される研究会・委員会により活用構想、管理運営などの検討、平成14(2002)年6月改修工事、平成15(2003)年3月に完成。

### ⑦旧西尾家住宅(吹田文化交流創造館)・国重要文化財

江戸時代に旧仙洞御料(上皇の領地)の庄屋を勤めた、旧家西尾家の伝統と茶の湯の精神を感じさせる屋敷である。数寄屋風を意識した主屋、茶道敷内家の指導になる茶室、牧野富太郎の関与が伝えられる温室、著名建築家武田五一が和洋折衷の意匠を試みた離れなど多彩な建物からなり、文化性に富む優れた建築が伝えられている。当住宅は平成21年(2009年)12月8日、重要文化財に指定された。(但し、今年(2020)年の地震で被災し改修中のため、入館禁止)

⑦(東)亘家、(西)亘家 吹田に珍しい茅葺で、巨樹もある旧家。今もお住いなので入れません。

## ④吹田の渡し

### Ⅲ 安威川・神崎川合流点の鳥



安威川

(合流点)

神崎川



ユリカモメ



オカヨシガモ



カワウ



キンクロハジロ



ヒドリガモ

# IV 旧吹田村大木リスト

2017年データ

観測順序	最終No	調査日時	No	2007年	調査地町名	調査地位置	樹種	緯度1	東経1	株立ち数	幹周130	樹高	倒木
8	100	7/16/2017	17	no.65	内本町1	民家庭園	クスノキ	34° 47'32.4"N	135° 31'23.4"E	1	479	15.4	
(8)	101	7/16/2017	18	no.64	内本町1	光徳寺・墓地内	クスノキ	34° 47'33.0"N	135° 31'12.0"E	1	210	6.8	
8	102	7/16/2017	19	no.63	内本町1	光徳寺・鐘楼横	ムクノキ	34° 47'33.0"N	135° 31'12.0"E	1	242	6.7	
8	103	7/16/2017	20	no.62	内本町1	光徳寺・社務所前	イチョウ	34° 47'32.2"N	135° 31'13.4"E	1	214	9.1	
(7)	104	7/16/2017	1	no.71	内本町2	民家庭園	クスノキ	34° 47'23.0"N	135° 31'34.0"E	1	236	10.1	
(7)	105	7/16/2017	2	no.70	内本町2	民家庭園	クスノキ	34° 47'23.2"N	135° 31'34.0"E	1	278	9.9	
(7)	106	7/16/2017	3	no.68	内本町2	民家庭園	クスノキ	34° 47'23.0"N	135° 31'34.0"E	1	361	13.6	
(7)	107	7/16/2017	4	no.69	内本町2	民家庭園	クスノキ	34° 47'23.4"N	135° 31'33.4"E	1	284		
(7)	108	7/16/2017	6	no.66	内本町2	民家庭園	サクラ	34° 47'23.7"N	135° 31'34.0"E	3	209	9.4	
(7)	109	7/16/2017	7	新規	内本町2	民家庭園	エノキ	34° 47'23.7"N	135° 31'34.0"E	1	200	10.7	
(7)	110	7/16/2017	8	no.67	内本町2	民家庭園	サクラ	34° 47'25.1"N	135° 31'34.0"E	5	226	7.8	
5	111	8/6/2017	6	no.80	内本町3	大の木神社・吹田殿跡	ムクノキ	34° 47'12.2"N	135° 31'32.7"E	1	211	8.7	
5	112	8/6/2017	7	no.79	内本町3	大の木神社・吹田殿跡	イチョウ	34° 47'35.9"N	135° 31'33.7"E	1	294	10.5	
5	113	8/6/2017	9	no.78	内本町3	民家・道路沿い	クスノキ	34° 47'18.4"N	135° 31'34.0"E	1	220	10.1	
6	114	8/6/2017	10	no.75	内本町3	弘誓寺本殿前	イチョウ	34° 47'19.7"N	135° 31'33.4"E	1	303	13.2	
	115	8/6/2017	11	no.76	内本町3	弘誓寺本殿裏	クスノキ	34° 47'20.4"N	135° 31'33.4"E	1	275	10.8	
	116	8/6/2017	13	新規	内本町3	弘誓寺本殿前・お手水横	クスノキ	34° 47'19.2"N	135° 31'33.4"E	1	210	15.9	
	117	8/6/2017	14	no.73	内本町3	川面墓地・中央	サクラ	34° 47'25.6"N	135° 31'34.0"E	1	240	5.8	
3	118	8/6/2017	15	no.72	内本町3	大雄院・本殿前	クスノキ	34° 47'24.9"N	135° 31'33.4"E	1	374	17.9	
	119	2/8/2018	18	新規	内本町3	大幸薬品	クスノキ	34° 47'18.1"N	135° 31'32.0"E	1	213	16	
2	842	7/16/2017	9	no.454	高浜町	高浜神社・参道西側	クスノキ	34° 47'30.0"N	135° 31'30.0"E	1	295	11.2	
2	843	7/16/2017	10	no.455	高浜町	高浜神社・参道西側	クスノキ	34° 47'31.1"N	135° 31'30.0"E	1	255	12.2	
2	844	7/16/2017	11	no.456	高浜町	高浜神社・境内東側	クスノキ	34° 47'31.1"N	135° 31'33.4"E	1	344	12.8	
2	845	7/16/2017	12	新規	高浜町	高浜神社・境内東側	クスノキ	34° 47'31.4"N	135° 31'33.4"E	1	227	12	
2	846	7/16/2017	14	no.458	高浜町	高浜遊園・南東側	クスノキ	34° 47'33.3"N	135° 31'33.4"E	1	284	16.3	
2	847	7/16/2017	15	no.457	高浜町	高浜遊園・南西側	クスノキ	34° 47'33.3"N	135° 31'35.4"E	1	289	14	
2	848	7/16/2017	16		高浜町	高浜遊園・北側	エノキ	34° 47'33.1"N	135° 31'35.4"E	1	248	11.3	
10	1051	7/12/2017	23	新規	出口町	アサヒ迎賓館・事務所入口	メタセコイア	34° 47'49.7"N	135° 31'35.4"E	1	201	27	
(10)	1052	7/12/2017	24	新規	出口町	アサヒ迎賓館・旭神社鳥居	ゼンダン	34° 47'49.0"N	135° 31'34.0"E	1	211	17.6	
	1053	7/12/2017	25	no.570	出口町	アサヒ迎賓館・旭神社裏	クスノキ	34° 47'51.0"N	135° 31'34.0"E	1	256	24	
	1054	7/12/2017	714-2	新規	出口町	アサヒ迎賓館・旭神社裏	クスノキ	34° 47'50.2"N	135° 31'33.4"E	1	217	24.8	
	1055	7/12/2017	714-2	no.568	出口町	アサヒ迎賓館・西芝生広場	クスノキ	34° 47'43.0"N	135° 31'34.0"E	1	218	17.3	
	1056	7/12/2017	714-2	新規	出口町	アサヒ迎賓館・西傾斜地樹林	アベマキ	34° 47'43.0"N	135° 31'34.0"E	1	215	36	
	1057	7/12/2017	714-2	no.569	出口町	アサヒ迎賓館・先人の碑上り口	アベマキ	34° 47'43.0"N	135° 31'34.0"E	1	220	17.9	
	1058	8/2/2017	1	新規	出口町	片山神社・参道左側	マツ	34° 47'50.0"N	135° 31'34.0"E	1	205	15.5	
	1059	8/2/2017	2	新規	出口町	片山神社・参道右側	アベマキ	34° 47'50.0"N	135° 31'34.0"E	1	203	17.2	
10	1060	8/2/2017	3	no.561	出口町	片山神社・境内車入口	クスノキ	34° 47'53.1"N	135° 31'33.4"E	1	285	17.9	
	1061	8/2/2017	4	新規	出口町	片山神社・本殿裏	アベマキ	34° 47'53.0"N	135° 31'34.0"E	1	218	17.7	
	1062	8/2/2017	5	新規	出口町	片山神社・本殿裏	アベマキ	34° 47'55.1"N	135° 31'35.4"E	1	235	28.2	
	1063	8/2/2017	7	新規	出口町	片山公園・ナカライテスク裏	アベマキ	34° 47'50.0"N	135° 31'34.0"E	1	217	14.3	
	1064	8/2/2017	8	no.563	出口町	片山公園・アサヒ慰霊碑裏	アベマキ	34° 47'50.0"N	135° 31'34.0"E	1	234	19.3	
	1065	8/2/2017	9	no.564	出口町	片山公園・忠魂碑前	サクラ	34° 47'51.0"N	135° 31'34.0"E	1	228	9.2	
	1066	8/2/2017	10	新規	出口町	片山公園・忠魂碑前	サクラ	34° 47'50.0"N	135° 31'34.0"E	1	202	7.4	
	1135	7/12/2017	714-2	no.814	西の庄町	アサビール・吹田工場事務所	エノキ	34° 47'40.2"N	135° 31'14.0"E	1	242	13.2	
9	1136	7/16/2017	21	no.617	西の庄町	泉殿宮・社務所東	クスノキ	34° 47'39.2"N	135° 31'05.1"E	1	334	17.4	
	1137	7/16/2017	22	no.836	西の庄町	泉殿宮・神輿蔵裏	クスノキ	34° 47'35.1"N	135° 31'02.0"E	1	254	9.2	
	1138	8/5/2018	1	no.815	西の庄町	泉殿宮・鳥居入ってすぐ右	クスノキ			1	279	9	
3	1488	8/6/2017	16	no.797	南高浜町	浜屋敷・庭園	クスノキ	34° 47'25.3"N	135° 31'40.4"E	1	270	36.2	
3	1489	8/6/2017	17	no.796	南高浜町	浜屋敷・庭園	クスノキ	34° 47'25.3"N	135° 31'40.4"E	1	259	36.4	

# V 吹田の古木・大木データ

## ◆幹周りベスト10 (表1-1、表1-2)

2007年調査で幹周り400cmを超える大木は3本だったが2017年調査では5本になった。大木幹周りベスト10でトップ4は2007年と同じ木がその座を守った。2007年調査で5位の岸部中の民家のクスノキは落ち葉問題などで枝切りされ、2017年は幹も枯れていた。(P55参照)

表1-1 2007年幹周りベスト10

順位	No.	町名	所在地	樹種	幹周り (cm)	株立ち (本)
1	65	内本町	民家	クスノキ	467	1
2	363	千里山東	関西大学	クスノキ	435	9
3	334	千里山東	関西大学	クスノキ	424	1
4	340	千里山東	関西大学	クスノキ	390	1
5	138	岸部中	民家	クスノキ	380	1
6	373	千里山東	関西大学	エノキ	363	4
7	72	内本町	大雄院	クスノキ	361	1
8	362	千里山東	関西大学	クスノキ	358	2
9	68	内本町	民家	クスノキ	357	1
10	912	芳野町	アメニティ江坂	クスノキ	354	1

表1-2 2017年幹周りベスト10

順位	No.	町名	所在地	樹種	幹周り (cm)	株立ち (本)
1	100	内本町	民家	クスノキ	479	1
2	691	千里山東	関西大学	クスノキ	460	9
3	658	千里山東	関西大学	クスノキ	457	2
4	662	千里山東	関西大学	クスノキ	411	1
5	1472	南金田	糸田川堤防	エノキ	402	2
6	705	千里山東	関西大学	エノキ	394	4
7	1694	芳野町	アメニティ江坂	クスノキ	393	1
8	887	垂水町	垂水神社	クスノキ	389	1
9	1451	古江台	弘済院	ポプラ	388	1
10	118	内本町	大雄院	クスノキ	374	1
10	950	津雲台	千里南公園	ユーカリ	374	1

表5 樹種別本数ベスト10

順位	樹種	1997年		2007年		2017年	
		本数	比率 (%)	本数	比率 (%)	本数	比率 (%)
1	クスノキ	147	36.9	372	631	4.3	
2	メタセコイア	4	8.8	60	150	37.5	
3	サクラ	41	6.4	54	109	2.7	
4	アベマキ	40	6.1	41	104	2.6	
5	ポプラ	19	4.7	69	80	4.2	
6	エノキ	34	4.4	63	76	2.2	
7	コナラ	17	4.2	46	72	4.2	
8	ケヤキ	8	4.2	21	72	9.0	
9	マツ	7	3.0	23	51	7.3	
10	ヒマラヤスギ	0	2.9	16	50	-	

旧吹田村3邸  
クスノキ5本の幹周り変化 (cm)



## ■調査期間・参加人数・調査本数

概要	大木調査	倒木調査
調査期間	17.3.20~18.3.7	18.11.12~19.2.14
調査日数	74日	35日
調査人数(のべ)	554	62
調査した木の数	1829本	1650本
大木登録本数	1710本	85本

表3 町名別本数ベスト10

順位	2007年		2017年		増加率 (%)
	町名	本数	町名	本数	
1	千里万博公園	116	千里万博公園	288	248
2	藤白台	102	藤白台	211	207
3	津雲台	68	津雲台	138	203
4	高野台	58	高野台	114	197
5	千里山東	58	古江台	84	240
6	青山台	38	千里山東	81	140
7	山手町	36	佐竹台	76	245
8	古江台	35	青山台	66	174
9	佐竹台	31	桃山台	48	300
10	江坂町	29	中の島町	44	169
	その他	357	その他	560	147
計		928	計	1710	184

表4 所在地別ベスト10

順位	2007年		2017年		増加率 (%)
	所在地	本数	所在地	本数	
1	千里万博公園	116	千里万博公園	292	252
2	関西大学	87	千里緑地	155	263
3	千里北公園	76	千里北公園	142	187
4	千里緑地	59	関西大学	107	123
5	千里南公園	40	千里南公園	70	175
6	高川沿い	40	弘済院	49	188
7	弘済院	26	中の島公園	39	217
8	垂水神社	19	紫金山公園	27	169
9	中の島公園	18	大阪大学	27	300
10	紫金山公園	16	垂水神社	26	137
	その他	431	その他	776	168
計		928	計	1710	184

## 1. なくなった木

2007年に記録した大木928本のうち10年間で191本、全体の2割がなくなった。一般論として大木が消えていく要因は次のようなことが考えられる。

- ①落雷、台風など自然現象によるもの
- ②ナラ枯れなど体力低下による病死
- ③建物の基礎部分や屋根などへの影響により伐採
- ④近隣への落ち葉問題により伐採
- ⑤大規模開発で広域伐採によるもの
- ⑥建物の改築・改修により伐採
- ⑦火災による枯死 など

なくなった木 (樹種別)

順位	樹種	比率 (%)	なくなった木	本数
1	クワ	100	1	1
2	ニワウルシ	100	1	1
3	ポプラ	34	27	80
4	センベルセコイア	30	3	10
5	ヒマラヤスギ	28	14	50
6	コナラ	17	12	72
7	ユーカリ	15	4	26
8	ユリノキ	9.1	1	11
9	アキニレ	8.3	1	12
10	マツ	7.8	4	51
11	エノキ	5.3	4	76
12	ブラタナス	5.1	2	39
13	サクラ	2.8	3	109
14	メタセコイア	2.7	4	150
15	アベマキ	1.0	1	104
16	クスノキ	0.5	3	631
	その他	0.0	0	287
計		5.0	85	1710

次回 2月頃 「大阪城公園の巨石」を計画中

